

第11回廿日市市景観審議会会議記録 要旨

- 1 会 議 名 第11回廿日市市景観審議会
- 2 開催日時 令和7年3月12日（水） 10時30分から13時15分まで
- 場 所 廿日市市役所 さくらびあ リハーサル室
- 3 出席委員
- | | | | |
|-------|-------|-------|--------|
| ・高井広行 | ・高田由美 | ・坂本貴寛 | ・塩田ひとし |
| ・吉田幸弘 | ・三浦浩之 | ・森保洋之 | ・磯永章子 |
| ・岡本礼子 | ・梶本歌子 | ・鳥平二郎 | ・正本文雄 |
- 4 議 事
- (1) 開 会
- (2) 議 案
- 宮島口地区街なみ環境整備事業及びその事後評価について
- (3) 報 告
- シビックコア地区（国道2号以南）まちづくり基本計画について
- (4) その他
- (5) 閉 会
- 5 公開、非公開の別 公開
- 6 傍聴人の人数 0人
- 7 発言の要旨 別紙のとおり
- 8 事務局職員
- | | |
|-----------------------------|--------------------|
| ・建設部都市建築担当部長 横瀬文彦 | ・建設部次長兼都市計画課長 長崎聖 |
| ・事業調整監 茶木和幸 | ・都市計画課課長補佐兼係長 加治秀典 |
| ・都市計画課係長 川本拓 | ・都市計画係 主任 前花武範 |
| ・都市計画係 主任技師 竹内一輝 | |
| ・建設部次長兼宮島口みなとまちづくり推進課長 桑垣千春 | |
| ・宮島口みなとまちづくり推進課係長 河村伸司 | ・事業推進係 主事 迫田美羽 |

9 説 明 員

・都市計画課課長補佐兼係長 加治秀典

・都市計画係 主任技師 竹内一輝

・宮島口みなとまちづくり推進係係長 河村伸司

・事業推進係 主事 迫田美羽

10 結 果

議案 宮島口地区街なみ環境整備事業及びその事後評価について異存はないが、審議会であった意見については、検討・整理し、成果目標と達成状況について取り纏め、公表すること。

11 発 言 の 要 旨

(1) 第1号議案 宮島口地区街なみ環境整備事業及びその事後評価について
(事務局)

第1号議案、宮島口地区街なみ環境整備事業及びその事後評価について説明する。
－説明－

(D委員)

事後評価をするにあたって、事後評価報告書をどう記載するのか案を示すべきなのではないか。

(事務局)

今回の審議会において、事後評価の要素である、進捗状況や効果の発現状況、今後の方針等について、順を追って説明させていただいたところである。このことについて、委員の意見を頂き、その意見を踏まえ最終的に報告書を作成し、申請させて頂こうと思っている。

(D委員)

そういう理解とした。

(B委員)

この説明資料に、宮島口地区の目指すべきイメージ図の記載があれば、その景観が達成されたのかわかると思う。私自身が、これまでこの街なみ環境整備事業に係わってきていないので、初めて見る人でも、そういったイメージがわかるように、事後評価報告書の工夫が必要だと思う。

(事務局)

事後評価報告書において、イメージ図を補足資料として添付し提出することとする。

(C委員)

評価指標と記載があるが、こういったものが評価指標なのか。

(事務局)

1つ目が、宮島の閑散期の観光客数の増加
2つ目が、道路美装化を行い景観向上と周辺施設への誘導を図る
3つ目が、既存不適格看板の修景
が、評価指標である。

(C委員)

評価指標の宮島の閑散期の観光客数の増加は、この街なみ環境整備事業の要因のみではない。インバウンドなどの影響も考えられるので、評価指標の達成の説明に工夫がいるのではないかと。

(事務局)

インバウンドの影響等もあるが、宮島口での取組も寄与していると考えている。評価指標の補足として、宮島口地区のイベントの参加人数等も示させていただき、事後評価報告書を提出することとする。

(A委員)

C委員の指摘は、事業に対して、評価指標の内容がどのようなものが望ましいのかということだと思う。例えば、この地区の評価指標の1つとして、参考になり得る内容として、「このイベントに参加してどうだったか？」などのアンケート調査も考えられる。全体として、事後評価のしつらえ方が、次のⅡ期の事後評価のしつらえ方のモデルになり、ひな形になると考えていただき、事務局には工夫をして作成をしていただきたい。

(事務局)

事後評価について、補足資料を添付し全体として意味が通り、わかりやすいような資料構成となるように、作成し、公表を行う。

(G委員)

道路の美装化の成果目標の達成状況について、「要因が電線管理者と手法や負担金等で合意形成が図れず、事業着手できなかったのも目標達成に至らなかった」とあるが、どういったことか。

(事務局)

道路の美装化のほかに、無電柱化を実施している。無電柱化は、良好な景観形成が図れることのほか、耐震、防災面でも有効な事業であり、併せて推進している状況である。道路の美装化を実施後、無電柱化を実施する場合、また掘り返す等の二度手間の施行となり、費用効率が悪くなってしまう。そのため、まずは、道路の美装化の前に、無電柱化を進めていく必要があるが、費用が掛かるため、その費用負担等について電線管理者とすぐに合意というのは難しい状況であり、目標に至らなかったということである。

(G委員)

理解した。

(A委員)

住宅・店舗等の修景の成果目標について、25件、15件、9件等、様々な数値が出てくる。わかりやすく理解できるように、工夫していただきたい。

(事務局)

事後評価報告書において、工夫する。

(2) 報告 シビックコア地区(国道2号以南)まちづくり基本計画について

(事務局)

報告、シビックコア地区(国道2号以南)まちづくり基本計画について説明する。

—説明—

(D委員)

シンボルロードが整備されるということだが、単なる道路空間整備ではなく、シンボルとなると、何らかの意図性があるのではないか。

他の市町の人に、私たちのまちはこういう場所だというのが示せるような空間を作っていただきたい。

(C委員)

やはり今までにない、特色の有る、考えが入ったゾーンを工夫いただきたい。廿日市らしさという要素を検討していただき、将来に向けて、新しいまちづくりを期待したい。

(事務局)

今後、関係課と協議を進めながら進めていく中で、そういったことが反映できるように検討を進めていく。